

令和8年度 長崎県公立高等学校入学者選抜 入試出願書類 島原高校 記入例

掲載項目

特別選抜（自己推薦①・自己推薦②） 入学願書
一般選抜入学願書
特別選抜（自己推薦①）自己推薦書
特別選抜（自己推薦②）自己推薦書
写真票

以下の記入上の注意と各様式の記入例をよく読んで、丁寧に記入してください。

記入上の注意(各様式共通)

記入の仕方

- 各様式を長崎県教育委員会のHPからダウンロードして記入、または入力すること。
自筆する場合はボールペンを用いて楷書で丁寧に書くこと。(鉛筆、フリクションペンは不可)
- 記入事項が無い欄は原則斜線を引き空欄を作らない。空欄が連続する場合は一括して斜線を引いても構わない。(入力する場合でも斜線は手書きで構わない)。ただし、自己推薦書の備考欄が空欄になるときは「特記事項なし」と記入する。

氏名

- 氏名に印刷できない文字（外字）がある場合はその文字を自筆すること

住所

- 住所は住民票のとおり記入すること。
例 1600番地1号 を 1600-1 のように省略しない

学校名

- 志願校名は長崎県立は記入しない。
島原 高等学校長 島原 高等学校 となるよう記入する。
- 中学校名については「〇〇市立〇〇中学校」となるように記入する

日付

- 書類の日付は願書締切以前の日にちを記入する。中学校の指示がある場合はそれに従う。

(様式1-1)

※受付番号

この欄は記入しない

特別選抜（自己推薦①・自己推薦②）

入学願書

「長崎県立」は不要（以下同様）

島原

高等学校長様

令和8年1月13日

日付は中学校の先生の指示に従う

本人が入力または自筆
入力の場合、印刷されない文字や
入力できない文字は自筆

志願者氏名

島原 次郎

保護者氏名

島原 太郎

保護者本人が確認または自筆

貴校への入学を志願いたします。

*該当する選抜の欄に1つだけ○印を付けること

自己推薦①

自己推薦②

○

志願者

ふりがな氏名

しまばら じろう
島原 次郎

生年月日

平成22年11月1日

志願校

島原 高等学校
全日 制

志望学科・コース

第1志望

普通 科

第2志望

普通、文理探究の
どちらかを記入

第3志望

科
コース

現住所

〒855-0031
島原市城内2丁目1130番地

記入事項が無い場合は斜線を引く。空欄が連続する場合は一括して斜線を引いて良い。（斜線は手書きでも構わない。）（以下同様）

保護者

現住所

〒
志願者の欄に同じ

志願者の略歴

令和5年4月島原市立島原

中学校入学

年 月

中学校転入

年 月

中学校転入

令和8年3月島原市立島原

中学校卒業見込

中学校卒業後

選抜手数料払込に係る整理番号
(数字12ケタ)

123456789012

選抜手数料払込 確認欄

☒ 払込済み

備考

選抜手数料振り込みに係る整理番号は
その後の選抜（一般・I期など）を受
検する際に必要になるので必ず保管し
ておくこと。

払込完了後✓のようにチェックを入れる。

(注) 記入にあたっては、「入学願書の記入上の注意」を参照すること。

(様式1-4)

※受付番号

一般選抜／定時制Ⅰ期・Ⅱ期選抜／
連携型中高一貫教育に係る入学者選抜

入学願書

令和 8 年 2 月 2 日

島原 高等学校長 様

記入の注意に関しては
特別選抜(自己推薦①、自己推薦②)
入学願書の記入例を参考にする事

志願者氏名 島原 次郎

保護者氏名 島原 太郎

貴校への入学を志願いたします。

志願者	ふりがな氏名	しまばら じろう 島原 次郎	生年月日	平成 22 年 11 月 1 日										
	志願校	島原 高等学校 全日 制	志望学科・コース	第1志望	文理探究									
				第2志望	普通									
				第3志望										
	現住所	〒 855-0031 島原市城内2丁目1130番地												
保護者	現住所	〒 志願者の欄に同じ												
志願者の略歴	令和 5 年 4 月 島原市立島原 中学校入学													
	年 月 中学校転入													
	年 月 中学校転入													
	令和 8 年 3 月 島原市立島原 中学校卒業見込													
	中学校卒業後													
特別選抜等受検の有無			☒ 受検あり ☐ 受検なし			チェック後、下に整理番号を記入ください								
選抜手数料払込に係る整理番号(数字12ケタ)			1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2
選抜手数料払込 確認欄			☒ 払込済み											

第2志望の欄には、記入できるのは「普通」のみ。「文理探究」は記入できない

(注) 記入にあたっては、「入学願書の記入上の注意」を参照すること。

納付書で支払う場合、「納付済証」と「納付済証照合票」の原本がはがれないように、願書の裏面にのり付けすること。その際、必ず2つの原本のコピー(3枚)を各自で保管すること。(今後、受検する場合に必要になります。)

この枠の内側に貼付してください。

(様式2-1)

※

特別選抜（自己推薦①）

自己推薦書

「長崎県立」は不要（以下同様）

島原

高等学校長 様

令和

8 年

1 月

13 日

日付は中学校の先生の指示に従う

島原市

立 島原

中学校

氏名

島原 次郎

入学後の活動種目・分野

〇〇部

志
願
理
由

志願者本人が自筆または、入力すること

主
な
実
績
・
結
果

活動名・大会名 等

学年

実績・結果

添付
書類

令和7年度長崎県中学校総合体育大会

3

団体優勝

有

令和7年度九州中学校総合体育大会

3

団体3位

有・無のどちらかを入力

有

記入事項が無い場合は斜線を引く。空欄が連続する場合は一括して斜線を引いて良い。（斜線は手書きでも構わない。）

備
考

「主な実績・結果」欄に記載した内容について補足すべきことなどあればこの備考欄に記入してください。特になければ「特記事項なし」と記載してください

- (注) 1 志願者本人が定められた様式に入力または、自筆すること。（入学願書の記入上の注意の1に準じる）
- 2 「主な実績・結果」欄は、顕著なものについて記入し、別に証明する書類（賞状・新聞記事等）の写しを添付すること。
- 3 添付する書類はA4判サイズとし、「添付書類」欄に「有」・「無」のいずれかを記入すること。
- 4 「備考」欄は志願先高等学校から指示があった場合に使用すること。
- 5 ※欄は記入しないこと。

(様式2-2)

※

特別選抜（自己推薦②） 自己推薦書

「長崎県立」は不要（以下同様）

令和 8 年 1 月 13 日

島原

高等学校長 様

日付は中学校の先生の指示に従う

島原市

立 島原

中学校

氏名

島原 次郎

主体的
活動を通
して学ん

志願者本人が自筆または、入力すること

志願理由

記入事項が無い場合は斜線を引く。空欄が連続する場合は一括して斜線を引いて良い。（斜線は手書きでも構わない。）

取得資格等

1

名称

階級・スコア等

添付書類

2

名称

階級・スコア等

添付書類

実用英語技能検定

3 級

有

主な実績・結果

活動名・大会名 等

学年

実績・結果

添付書類

第47回全日本中学生水の作文コンクール

3

入選

有

備考

「主な実績・結果」欄に記載した内容について補足すべきことなどあればこの備考欄に記入してください。特になければ「特記事項なし」と記載してください

- (注) 1 志願者本人が定められた様式に入力または、自筆すること。（入学願書の記入上の注意の1に準じる）
- 2 「取得資格等」、「主な実績・結果」欄は、顕著なものについて記入し、別に証明する書類（合格証明書、賞状・新聞記事等）の写しを添付すること。
- 3 添付する書類はA4判サイズとし、「添付書類」欄に「有」・「無」のいずれかを記入すること。
- 4 「備考」欄は志願先高等学校から指示があった場合に使用すること。
- 5 ※欄は記入しないこと。

(様式3-5)

写 真 票	
☒	全日制課程・定時制課程昼間部 特別選抜
☐	全日制課程・定時制課程昼間部 一般選抜
☐	定時制課程（昼間部を除く） I 期選抜
☐	定時制課程（昼間部を除く） II 期選抜
☐	帰国生徒・外国籍生徒に係る入学者選抜の特例措置
☐	離島留学特別選抜
☐	美術・工芸科特別選抜
☐	チャレンジ選抜

*上記のいずれかの左欄に○印を付ける。

受 検 番 号	※
---------	---

※印の欄は記入しない。

写真写真票に直接印刷しない。

○写真印画紙について

- ・普通紙は使用しない
- ・極端に薄い紙を使用しない

写真の裏面には何も書かない。

(写 真)

※サイズ「たて 5cm×よこ 4cm」

○撮影について

- ・スナップ写真や複数写っているものの切り抜きは不可
- ・背景を無地としたもの

- (注) 1 志願者氏名欄は、志願者本人が、たて書きで記入すること（鉛筆は不可）。
2 写真は、脱帽、正面、上半身のものとし、出願前3か月以内に撮影したものを原則とするが、志願者本人であることの判別が可能な場合、令和7年度中に撮影したものをを用いてよい。
3 写真の背景は無地とし、本人のみを撮影したものに限り（集合写真の切り抜き等は不可）。また、印画紙の質や厚さは特に定めないが、本人が鮮明に印画されるものを使用すること。